

はー」

松村寛一郎（三和総合研究所）「アジア環境経済モデル構築に向けた、食糧需給構造の地球環境および社会システムからの見地による分析」

3会場に分かれ、講演各50分、休み時間各10分という「学校」ならではの企画であった。

●ポスターセッション

計29件の発表があり活発な議論が行われた。

●自主企画

東京大学理学部的那須野智江氏主催の積雲対流の組織化に関する討論会と、音楽会が催された。

4. おわりに

盛りだくさんな企画であったが、内容が充実しており好評であった。一方で、年々参加者の増大により幹事校の負担が増大しているという問題がある。このような催しを続けるためには、運営の省力化が望まれる。なお、1997年夏に東北大学主催による開催が内定している。

今回の開催にあたり、日本気象学会（講演企画委員会）から補助を受けた。

訂正

43巻12月号816ページ、「今年お世話になったレフェリーの方々」の中で、「木村富士雄」を「木村**富士男**」と訂正させていただきます。木村さんにはご迷惑をおかけしたことをおわびするとともに、今後このような事態が生じないよう、編集委員会事務局においては、編集・校正作業になお一層の注意を払うようにいたします。

編集委員長

編集方針を検討する必要がある旨、問題提起され、関係者で案を作ることになった。

8. その他

WPGM (Western Pacific Geophysics Meeting) の2000年開催に関する打ち合わせ

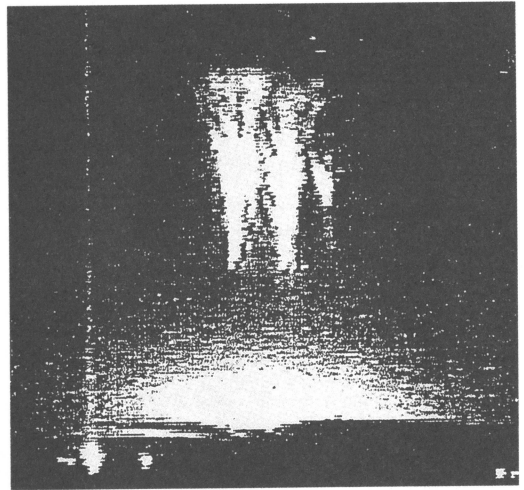
AGU (American Geophysics Union) の Fred

Spilhaus 氏が来日し、1月16日、地震研究所で打ち合わせが行われる旨、地球惑星科学関連連絡会担当理事から紹介された。シンポジウム等の開催については今後検討されることになるが、会員への情報中継に漏れないようにして欲しい旨、希望が述べられた。

訂正

「天気」43巻11号の1996年度日本気象学会春季大会シンポジウム「雷雲」の報告中、「7. 雷放電に伴う中間圏・電離圏の発光現象」の757ページ第3図の写真の上下が逆に印刷されるという不手際が生じました。正しい図を掲載し、訂正させていただきます。

図は著者初校校正段階では、正しく印刷されていましたが、第2図と第3図の位置関係が正しくなかったため、編集委員会による初校校正で図の位置の入れ替えを指示したところ、図の入れ替え時に印刷所で写真の上下が逆になったものです。このため、著者及び読者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。今後、このような事態が生じないように、編集委員会事務局および印刷所において、編集・校正作業になお一層の注意を払うようにいたします。



第3図 Sprites の例 (Lyons, 1996).